

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワンライフMINOKAMO		
○保護者評価実施期間	2024年9月1日		2024年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2024年9月1日		2024年9月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年10月22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日、綺麗な環境で子どもたちの支援ができるように、清潔保持を徹底しています。危険な物がないかを常に確認し、安全な環境づくりを心掛けています。	フロアに掃除機をかけた後に、必ずモップでアルコール消毒をしています(トイレの床も同様)。テーブル、椅子、遊具、棚などもアルコールで拭くようにしています。	子どもたちが使用する玩具1つ1つの掃除や消毒も定期的に行い、修復が必要な物は速やかに修復し、子どもたちが安全に玩具を使用できるようにしていきたいです。
2	多国籍に渡るスタッフが配置されています。日本語とポルトガル語を話せるスタッフが通訳となって橋渡ししてくれています。また、ブラジルの言語聴覚士もいます。	日本人の子どもには日本人、ブラジル人の子どもにはブラジル人、フィリピン人の子どもには両方のスタッフがおもに支援に入ります。そして、ブラジルやフィリピンの子どもが日本語も習得できたり、日本の子どもが外国籍のスタッフとの関わりを持つことができたりするよう交替しながら支援に入る試みもしています。	スタッフ同士がコミュニケーションをしっかりとって、全員が子どもたちの状況を同じレベルで把握できるよう情報共有をしていきたいです。また、言葉の発音のことで困っている子どもたちには、言語聴覚士の指示のもと良い訓練を取り入れた支援を提供していきたいです。
3	送迎時やお迎えに来た時などに、保護者とのコミュニケーションを積極的にとるようにしています。親子参加のイベントを企画し、親子でワンライフMINOKAMOを楽しんでもらえる機会をつくっています。	来所時には前日や当日の子ども様子を保護者に確認し、お迎え時には施設内での子ども様子を伝えるようにしています。必要時にはLINEも使用して情報共有に努めています。	今後も保護者とは密に連絡を取り合い、互いに協力しながら子どもたちを支援していきたいです。また、保護者の方々にもワンライフMINOKAMOの支援を知ってもらえるよう、療育を見学したりイベントに参加したりできる機会を設けていきたいです。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児発と放デイの利用時間が同一のため課題がある。安全確保や支援の質など。	支援室のスペースに限りがあり、児発の子どもが縦横無尽に走り回らないように、また放デイの子どもが大きく体を使った遊びをしすぎることでケガにつながらないように注意が必要です。	支援室の一部に仕切りをつくり、静と動の遊びを異なるスペースでできるよう改善していきたいです。気候のいい時は放デイの子どもたちが外で思い切り遊べるようスタッフ配置も考えていく必要があります。
2	スタッフ同士のコミュニケーションをさらに高めていく必要があります。	日本人スタッフとブラジル人スタッフの間には言葉の壁が存在します。両方の言語ができるスタッフが通訳となって橋渡ししてくれていますが、多忙な中で通訳の負担をかけてしまうのも申し訳ないという気持ちから、すべてを伝えきれていないこともあります。	ブラジル人スタッフは日本で生活していることもあり、どんどん日本語を覚えてくれています。日本人スタッフも少しずつポルトガル語を覚えるなどして距離を縮めていきたいです。挨拶や御礼の言葉など、当たり前のことを大切にしながら尊重し合って一緒に仕事をしていきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ワンライフ MINOKAMO

公表日 令和6年 11月 18日

利用児童数 30

回収数 10

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9			1		今後はさらに安全に使用できるようプレイ ルームの一部を仕切り、静と動の活動を分け られる環境づくりに努めます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8	1		1		少しずつスタッフを増員しています。子ども たちの安全を確保できるよう人員配置をしっ かりしていくようにします。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	10					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	8			2		今後も保護者にご理解いただけるよう に、より詳しい支援プログラムの内容を 公表していきたいと考えています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	8				2	保護者にモニタリングをしっかり行い、 子どもたちに必要な支援を行えるよう な計画を立てていきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	9			1		適切な運用と丁寧な説明を心がけます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9				1	スタッフ間で支援計画を共有し、同じ対 応をとることで子どもたちが混乱しない ように支援を行っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思います か。	10					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	6		2	2		現在、公園に出かける機会を設けていま すが、今後は児童館の利用なども検討し ていく予定です。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	9	1				
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	1		1		説明が不十分のまま計画を開始するこ とのないように、保護者への丁寧な説明を 心がけていきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	10					
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	9				1	保護者と直接対話したり、SNSを使用し たりして情報の共有に努め、スタッフ間 でも共通理解を図っていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9				1	その子のもつ特徴や性格を把握した上で 保護者や子どもの気持ちに寄り添い、丁 寧な支援をしています。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8				2	子ども同士の交流だけでなく、保護者同 士家族同士も交流できるような行事、支 援を考えます。国籍関係なく子どもたち が、お互いを尊重する気持ちを育いま す。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8			2		様々な相談は、随時面談や電話、SNSなどで受け付けていますが、そのことを再度保護者に周知していくよう努めます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9			1		多国籍の子どもがいるため、その国の言語ができるスタッフが主に保護者や子どもと意思疎通を図っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7			3		普段の支援の様子や行事の様子などは、SNSを通じて写真と共に発信しています。連絡伝達は電話・SNSで行います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9			1		今後も個人情報の取り扱いには十分配慮し、安心して利用いただけるよう努めます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6			4		マニュアルを保護者に周知できるよう検討します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6			4		年に2回避難訓練を行い、実際に避難場所へも歩いて確認に行きます。災害時の対応をしっかりと話して伝えていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9			1		物理的な安全対策をとるとともに、子どもたちにも注意を促しながら皆が安全に過ごせる環境づくりを心がけています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6			4		子どもがケガをした時、体調不良が疑われた時には速やかに保護者に連絡をし状況を説明しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8	2			毎日行きたいと言って、活動も先生も好き。	これからも子どもたちが安心して通所できるように、信頼関係を構築し、愛情をもって接するよう努めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	2			とても。時間や日にちを数えながら楽しみにしています。	「次回ここへ来れば楽しい時間を過ごすことができるんだ」と思ってもらえるような支援内容を考えていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10				とても。	子どもたちや保護者の方々にとって、有意義な場所となるように、ご満足いただける支援を今後も継続していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ワンライフ MINOKAMO		公表日		令和6年 11月 18日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	4		安全確保の為、子どもたちが運動している際怪我に繋がらないように支援していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	4		一人一人への支援を手厚くできるように工夫していきたいです。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	ワンフロアのため、遊具の場所が明らかで良いと思います。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	支援内容によっては、スペースを広く作るなどそのつど工夫している。	ボールプールなどの消毒を徹底している。子どもが多い時には安全に留意している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	個室があるため必要時利用できている。	個室があと1つ増えると良い。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	2	4		朝礼や終礼時に振り返りの時間を設けてPDCAサイクルが機能するよう配慮していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	2	週交代で活動係を決めて共有しながら進めている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0		スタッフ間で協力しながら運営したい。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	4		時間を作って確認をしたい。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	全員で行っている。	皆で引き続き考えたい。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	週ごとにかえているため固定化はされていない。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	朝礼を活用している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3		時間の使い方を意識して運営したい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1		記録をとっている。検証、改善を行っている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	3	可能な日はカナリア会議に参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2		カナリア会議で保育園や学校と連携が取れつつあるので、引き続き整えたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	3		送り時や会った際に連携をとっている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2		来年度から対象児が増えてきたので、教育機関と連携を図りながら相互理解を深めていきたいと考えています。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1	カナリア会議の時に、他事業所や市役所の担当者とは話す機会がある。	会議などで情報共有や助言を受けることができている。引き続き会議等に参加していきたいと考えています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時や、お迎え時などに子どもの状況を話すようにしている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	今年度は2回イベントを開催し、悩み事等を設けることができた。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	大きなイベント時は発信している。普段の活動もインスタに載せるようにしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		地域住民との関りの幅を少しずつ増やしていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	避難訓練を実施し、避難場所へも見学に行っている。	研修、避難、地震、虐待、応急処置。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	緊急と避難を行いました。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0			